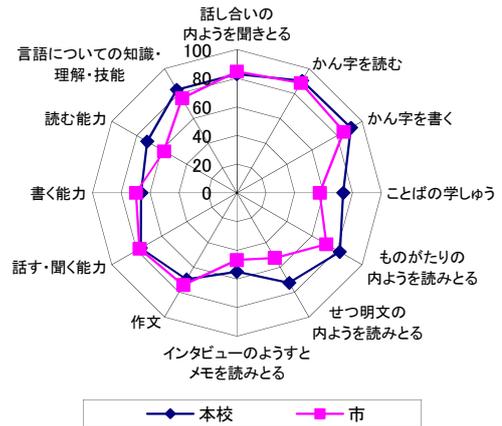


宇都宮市立豊郷中央小学校 第3学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内ようを聞きとる	82.9	84.6
	かん字を読む	90.3	88.6
	かん字を書く	91.1	85.4
	ことばの学しゅう	73.6	57.3
	ものがたりの内ようを読みとる	82.3	71.5
	せつ明文の内ようを読みとる	72.4	52.5
	インタビューのようすとメモを読みとる	55.0	46.8
	作文	69.6	74.2
観点別	話す・聞く能力	76.8	77.8
	書く能力	66.3	69.9
	読む能力	71.7	58.2
	言語についての知識・理解・技能	83.2	76.0



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞きとる	○大事なことを落とさないように聞き取ることや話題に沿った意見と理由を考えて話すことは、市の平均をやや下回っていた。まだ十分に力がついていない。	○話すテーマを決めて、1分間スピーチを継続して行っていくことで、話題に沿って話す力を身に付けさせる。またメモを取りながら話を聞く練習や聞き取りテストを定期的に行う。また学級活動においても自分の意見と友達の意見を比べながら聞き、話すという経験を積み上げていく。
かん字	○漢字を読む力や書く力は市の平均より高い結果が出ている。読みについては、読書量の多さや音読の反復練習の成果が表れてきたと考えられる。また書き取りに関しては漢字スキルを活用した家庭学習に力を入れてきた結果であると思われる。	○さらに漢字の読み・書きの力を高めていくために、作文やノート記録のときに既習の漢字を使用することを徹底させるよう努めていく。
ことばの学しゅう	○全体的に市の平均より高い数値が示され、全体的によい結果であった。中でも漢字の部首やローマ字の綴りはよく理解されていたが、国語辞典の使い方についてはまだ習熟されていない。	○国語辞典を使いこなせるようにするために授業や家庭学習の中で意味調べや漢字の部首調べ等の時間を取れるよう工夫していく。ローマ字については、日常生活の中で積極的に使うことによって定着させていきたい。
ものがたりの内ようを読みとる	○登場人物の気持ちを読み取ったり、場面の様子を読み取ったりする力は市の平均をかなり上回っていた。読書量の多さがこの結果に結びついていたのではないと思われる。ただし、個人差が大きいということが課題である。	○授業の中で、文章の中から登場人物の気持ちが表れている言葉を見つけ、傍線を引かせ、そこから心情を想像させていくといった指導を重ねていく。読書を奨励するとともに図書室で本を借りる際には、物語の本にも目を向けさせるよう工夫していく。
せつ明文の内ようを読みとる	○目的や必要に応じた文章の読み取りは、市の平均から比較すると大変よくできていた。とはいえ、正答率から考えると決して高くはない問題もある。	○説明文に段落番号をふることによって、段落を意識しながら読み取る学習が身についてきたと思われる。引き続き、段落と段落の関係を図に表すなどして文章全体の構成を考えられるよう工夫して指導していく。
インタビューのようすとメモを読みとる	○読み取った情報の共通点や相違点をとらえて整理することは、市の平均を大きく上回り、よくできていた。それに比べ、与えられた情報を正しく読み取り、必要な事柄を補うことは平均よりやや高い結果であった。	○情報を正しく読み取ったり、整理したりする力は今後も重要になっていくと思われる。インタビューや写真等のさまざまな資料から読み取れることを文章化していく学習をできるだけ取り入れていく。
作文	○作文を書くことについては、やや市の平均を下回っていた。今回のように文字数や段落構成が指定された作文を書くことは、今まであまり経験がなかったため、児童には難しく感じたようであった。また何を書こうかと迷ってしまい、時間内に終わらなかった児童も多く見られた。	○今までの自由作文に加えて、長さや段落等の条件に合う文章を書く経験を重ね、抵抗感を減らしていく。また授業の中だけでなく、家庭学習においても日記指導を継続することによって、書く楽しさを味わわせたい。